	1)	①新型コロナウイルス感染症対策を想定した避難所運会の取組状況		難の理解力向上キャンペーンに属したトピックとなる取組みについて	
	実施予定の有無	取組の内容	実施(予定) の有無	取組の内容	備考
宮崎市	有り	世帯毎の間隔の設定、発熱のある避難者への個室の確保、定期的な換気、受付での健康状態のチェックなど	無し		
高鍋町	有り	健康状態の確認、使い捨てマスク、体温計、消毒液等の準備 間隔を1~2mとれるようにマットを敷く、症状のあるものを隔離	有り	広報誌による取組	
木城町	有り	5/14に県で予定されている「新型コロナウイルス感染症発生時における避難所運営に係る意見交換会」開催後に、必要があれば検討を行う。	有り	月報等を活用した周知に加えて、地域コミュニティ無線での呼びかけも併用し て実施する	
西都市	有り	避難所での新型コロナウイルス感染症対策について広報での周知 避難所運営職員への研修 人を分散するために多くの避難所の開設 避難者の持参物にマスクや体温計の追加 避難所入所の際に健康チェックの実施 発熱者用に別室(別施設)の確保および動線管理 避難所での消毒・換気などの衛生管理 パーテーションでの仕切りやソーシャルディスタンスの確保	有り	避難所や災害情報をまとめた防災マップの各戸配布 広報等で避難情報のポイントの周知 要配慮者利用施設に対して避難計画策定の要請	
新富町	有り	・「新型コロナウイルス感染症対策下における避難所対応要領」の策定し、まずは出水期における災害の避難行動に備える。 策定に当たっての新富町の基本方針の概要は別添資料のとおり。 ・今後、対応要領に基づいた避難所開設シミュレーション及び避難所開設訓練等を予定	有り	・①の避難所対応要領の内容を全戸配布のチラシとホームページにて広報、周知した。チラシについては別添資料のとおり。 ・L2クラス洪水に対応したハザードマップのリニューアルと同時に各家庭での防災対策事項等を記載した防災ハンドブックを全戸配布・GPSと連動させた現在位置のリスクを確認できるにWeb版ハ ザードマップを作成しリリースした。 ・Web版ハザードマップにマイハザードマップ機能として、個別の避難計画等が作成できる機能を付加した。	
川南町	有り	現在はまだ取り組んでいないが、消毒やマスク等の準備を行う予定	有り	再度、避難警戒レベルのチラシの全戸配布や広報誌への掲載	
都農町	有り	体育館等においては密接とならないよう適切な間隔を保持し、必要に応じ備蓄の簡易テントを使用するとともに、学校施設の空き教室等の活用を図る。	無し		
西米良村	有り	・避難者の健康チェックの実施 ・消毒・換気等の徹底 ・ソーシャルディスタンスの確保 ・発熱者等疑わしい者の場所の確保	無し		

新型コロナウイルス発生時における避難所運営について

令和2年5月28日、29日 宮崎県危機管理課

コロナ発生時に避難所が開設された場合、不特定多数の住民が集まる避難所は「3 密」 となり、感染拡大が懸念される。

〔対応策〕

- ① 避難所入所前の人の振り分け(濃厚接触者、発熱等の症状ある者を一般の避難者と 隔離する等)
- ② 避難所の広さ及び箇所の確保(避難者一人当たりの十分なスペースを確保するとともに、新たな避難所を設置する。
- ③ 避難所内の徹底した消毒
- ④ 避難者へのマスク、体温計、消毒液等の持参呼びかけ(備蓄不足への対応)
- ⑤ 避難所以外の避難の啓発(自宅内の垂直避難、友人宅等への避難、車中避難)

ア 感染者のうち医療を必要とする者 医療機関 又は 指定の宿泊施設 イ 感染者のうち軽症者・無症状者 **X**1 **※**2 避難所 ウ 既感染者の濃厚接触者で、 健康観察期間を終了していない者 **※3** 専用スペース エ 自主的に自宅待機をしている者 (例:首都圏往来、発熱等の症状あり) オ ア〜エ以外の者 $\times 4$ 発症 カ無自覚の感染者

新型コロナウイルス発生時における避難所のイメージ図

- ※1 人の振り分け
- ※3 専用スペースの確保

- ※2 3密防止に配慮した運営
- ※4 発熱等を発症した者への対応